# しゃらりん 26 2012/1





しゃらりん

11 月 19 日に、、

音楽法要に参詣して

区からも、

して厳修され、

今年の本山報恩講は、

の中から3人の方に感想をお書きいただきました。

さまざまな形で数多くの参詣をいただきました。

全国各地からたくさんのお参りがありました。

歌声が届くことを願い

させていただきました。あいにくの 750回御遠忌讃仰音楽法要に参拝 紅葉が色づき始めた20 宗祖親鸞聖人

> まり触れあうことのない他の組のご 日を過ごすことが出来ました 門徒と語り合いながらお弁当やコー 参拝を企画していただき、 先ず「カフェあいあう」にて、 快適に一

老若男女 る法要となることが願われ勤修され 初めて聞い

た音楽にもか

第9組看景寺坊守

わず約150名のコ

ヒーをいただきました。 ている女性の姿もみられ、 その後、 御影堂に移動。 出仕され あ

ました。 僧侶・門徒が共にお勤めし、親しめ 回向文を、新実徳英氏の作曲により、 現代語訳された伽陀・三帰依文

共に、14時から音楽法要が開催され

方々に、

れました。 今後、

れたと語られておら

において思い

知らさ

今回の東日本大震災 自然では起こると、

が届くことを願い、 全国各地の音楽法要の歌声 復興を目指しておられる

### 豊島幸代 帰路に着きまし

# 御正当報恩講に参詣し





音楽法要で共に歌う参詣者

に声を出して歌ってらずのうちに、一緒かわらず、知らず知 でしたが、 うことで尊前を荘厳 おりました。今まで の音楽法要は受け身 一緒に歌

### 同朋会運動 50年 特別講座

第一回

日時: 2月2日(木) 午後6時 講師: 五辻信行氏(大阪教務所長)

講題:「同朋会運動に学ぶ姿勢―教団問題と宗憲

改正が意味するもの―|

第二回

日時: 2月9日(木) 午後6時

講師: 藤井慈等氏(三重教区慶法寺住職)

講題:「『水平社宣言』から問われる仏教者の課題

一部落差別事件を起点として」

第三回

日時: 2月16日(木) 午後6時

講師: 木越 樹氏(元真宗大谷派宗務総長) 講題:「同朋会運動の源流をたずねて一運動の歴

史をつくった人々」(仮)

第四回

日時: 2月24日(金) 午後6時

講師: 亀井 鑛氏(名古屋教区第31組珉光院門徒)

講題:「同朋会運動の原風景―同朋のめざめ(初期

仏教青壮年の願いに身をおいて) 一」

第五回

日時: 3月1日(木) 午後6時 講師: 蓑輪秀邦氏(教学研究所長)

講題:「親鸞教学の再構築―現代社会の問題を接

点として一口

※すべて会場は教化センター会館研修室

### 門徒女性と坊守の集い

日時: 2月27日(月) 1時半~ 講師:一楽 真氏(大谷大学教授) テーマ:「いのちとの出会い」

### 遠松忌法要

日時: 6月16日(土)

午後2時から法要、法話 午後 4時半から懇親会

場所: 難波別院

講師:安冨信哉氏(大谷大学特任教授)

### 秋安居

難波別院会場

日時: 1月17日(火)·18日(水) 午後5時~午後8時半まで

場所: 教化センター会館研修室

大和別院会場

日時:1月19日(木)

午後1時から午後5時まで 場所:大和大谷別院会館講義室

講師: 名畑 崇氏(講師・大谷大学名誉教授)

講題:「『教行信証』成立の背景』

### 教化委員会行事予定



### 得度準備講習会• 得度受式後研修会

日程: 3月26日(月)~27日(火)

場所: 難波別院

### 聖典講座

日時: 3月29日(木)・30日(金) 午後6時から

場所: 教化センター会館 研修室 講師:藤場俊基氏(金沢教区常讃寺)

講題: 親鸞の思想ー

『教行信証』「化身土巻」に学ぶ

※30日午後3時から座談会を開催

### 四月

### 聖典講座

日時: 4月26日(木)・27日(金) 午後6時から

場所: 教化センター会館研修室

講師: 藤場俊基氏 講題:親鸞の思想-

『教行信証』「化身土巻」に学ぶ

※ 27日午後3時から座談会を開催

3

した。命の尊さ、決ことばをいただきま

ない想定外のことが

して人間は図り知れ

があり、

魂に浄土が

ある」と米沢先生の

法話では「身に故郷

東舘紹見氏の記念

ても感動いたしまし させていただき、

六月



第17組「一緒に参拝して」

共に出会える大切な場

11月22日 (火) 晴れ。午前7時45 東大阪市近鉄布施駅北口ロータ -を皮切りに3か所の待ち合わ

> 17組だが、この度はがほとんどなかった という願いもあった ながりを深くしたい 緒に参拝する」こと 時に組長の思いは「一 案で挙行した。と同 是非とも参詣したい 宗祖親鸞聖人750 出かけるということ 会として、どこかに 第17組の住職・坊守・ を通して、組内のつ という組長からの提 う大切な機会なので、 回御正当報恩講とい まで組内寺族の研修 せ場所を周るバスは て走り出した。 に真宗本廟を目指し 「寺族」を乗せて軽快 これ

なぜだかそんな平常の姿にホッとす 平常の御影堂の姿だったが、しかし 参詣席という出で立ちから一変し、 した際の巨大スロープに、張り出し く御影堂は、春の御遠忌法要に参拝 午前9時京都到着。 のだろうと思う。 御拝幕たなび

> た。 れ知らないことや、 坊守や住職たちが、 ろ顔を合わすことが少ない、若院や れが初めてということもあり、 けで共々に参拝するという活動はこ の人たちもチラホラ見ることができ わらず、大変大勢の参拝で大阪教区 この日は火曜日という平日にも関 組内の住職・坊守・「寺族」だ 御影堂でそれぞ 初めて目にする

れは私たちにとって うに思う。まさにそ めて確認しあえたよ 向いているのだと改 ちゃんと同じ方向を あったもの同士が、 のお付き合いだけで ということが、組内 なものを感じた。 ことに、何か有意義 という場で語り合う た者同士が、 きた。共に大谷派と た語り合うことがで 儀式に尋ね合い、 いう実践の場を抱え 「一緒に参拝する」 報恩講

講であった。 場づくりになるのではと感じる報恩 続けることが、共に出会える大切な うに感じる。この参拝を大きなきっ かけとして、「一緒に参拝する」を





4

続々と入堂する参詣者

ということであるよ 鸞聖人」に出会えた の「宗祖としての親

# 御正当報恩講に出仕して

療が自然と溢れて

に参勤予定でしたが、 講に准堂衆として参勤いたしまし た。本来であれば3月の第1期法要 宗祖親鸞聖人750回御正当報恩 東日本大震災

> ました。 共に寝泊まりし、親交を深め、研鑽 阪准堂衆会から7名の参勤でした。 させていただくこととなりました。 で中止となり、御正当報恩講に参勤 助け合いながら1週間を過ごし 准堂衆は全国から60名、 大

りの「文類偈句淘」から始まり、 法要では、 21日の初逮夜、50年ぶ 28

> える喜びで夢のようでした。 きましたので、 れまで約2年間、 音木で打たせていただきました。こ る兄と『佛説無量寿経巻下』を二丁 で精一杯勤めさせていただきました。 日の「如来大悲」(位上曲)の結讃ま 25日中日中では、共に出仕してい 緊張と打たしてもら 音木の準備をして

27日にはお稚児さんの御練りがあ



音木を打つ端さ

御内陣の様子

りだくさんの法要でした。 28日の結願日中の坂東曲と、

に驚きました。この1週間で計7万 州にも参詣者が溢れていると聞き更 日中の始まる頃には両堂満堂で、 の方々が一斉に御影堂に走り、 28日には朝5時の開門から数百人も りも驚いたのが参詣者の多さです。 人の参詣があったそうです。 この御正当報恩講を通して、何よ 結願 白

のご門徒が、毎日のように団体参拝法要に来る事ができなかった被災地 で来られました。 東日本大震災で第2期、 第3期

その姿にとても感動しました。 ているご門徒。皆さんの思い、 徒。お勤めの間、ずっと念仏を称え また報恩講の時しかお勤めしな 山の声明を一生懸命唱えるご門 また

さ、ご門徒の姿を少しでもお伝えし 動で、涙が自然と溢れてきました。 御遠忌にご縁をいただいた感謝と感 和讃の調声始まったときには、この この思い、この御遠忌のすばらし 私自身も最後の「如来大悲」 のご

ていけたらと思います。

第8組西孝寺衆徒

# 震災ボランティアを

# 通 て見えてきたこと

援するかがたいへんな問題だったと 宅に被災者が入られてから、どう支

いうことでしたので、そういうこと

らないと、おっしゃっていました。

神戸の震災の時は、仮設や復興住

それをサポ

ートしていかなければな

の足で立っていかないといけな

にこれからまだまだ突き当たってい

くんだなと思いました。

行動にうつされるようになったのか、また何がこれからできるのか。ていただいた。そして被災地より戻られ、どのようなことを意識し、 日本大震災」でのボランティア活動に関する対談をおこなった。 ら5名の方に参加いただき、被災地に立ち、感じられたことを話し合っ の苦しみや悲しみに寄り添いながら、義捐金やボランティア活動を通 「東日本大震災」が発生した2011年3月11日以来、被災地の人々 今回、これまでに被災地でボランティア活動に従事した方々の中か しゃらりん編集部では、さる10月17日、御堂会館南館応接室にて、「東 日本中の人々が被災地の復興にむけて取り組んでいる。

長谷さん「とにかく 現地に……」

それぞれの思いを語り合っていただいた。

3日で行ってきました。 ことで、8月16日~18日まで、2泊 持っていかないと始まらないという 長谷:ともかく、体を一回現地に

災の直後は、ボランティアの人たち 初日は東北別院へ行きました。震

> が、本堂と庫裏にいっぱい寝泊まり してがんばってくれていたそうで

さん灯籠を海に流していて、 被災された方のものもあって、 ているのを聞いて、 が「私、就職活動がんばる」とか言っ なあと。それを見ながら女の子たち に行ってみました。今年は特に今回 それから夜は松島海岸の灯籠流し こういうセレモ すごい たく

> 感じました。 ニーが力になることもあるのだなと

たけど、これからは、被災者が自分 では、「みんなで助けよう!」だっ やって支援するのか。ちょっと前ま 前向きにやっていくか。 め住めないような状況の中で、どう やっていきたい。家が地盤沈下のた れをボランティアや行政で分担して 仮設住宅での要望を聞き取って、そ ているかというと、9月くらいから、 いく。それから仮設住宅はどうなっ ていよいよちょっとずつ手を付けて 行して行っているグループと協力し これから沿岸部にかかっていく。 けは、内陸部はほぼ目処がついて、 ターで話を聞きました。瓦礫の片付 翌日は石巻市のボランティアセン 自立をどう 先

月に行ってきました。

森:大谷青年会のメンバー8人で9

森さん「谷青の仲間と共に」



は せ としなり 長谷俊成(第 22 組満泉寺住職)

渡邉さん「被災地での

出会い」

奥田さん「ネットワ を活用して」

(第5組淨琳寺衆徒)

もいます。 の人もいるしバイク屋のお兄ちゃん て、物資集めから始めました。メン アをしていた地元の仲間に呼びかけ 奥田:阪神大震災の時にボランティ ・は大谷派だけではなく、天理教

ひろ き **広樹** 

もり森

行っていました。 ボランティアをメンバーが交代で 市や石巻市で瓦礫撤去や物資を配る 4月から5月にかけては、多賀城

が痛くなるくらいの臭いが残ってる 走っていると、魚の腐ったような頭

のが印象的でした。

2日目に石巻市の飯野川高校で、

的にどうこうするのは難しいの だん復興が見えてきた状態でした。 でした。その時は、浸水した場所の ういうことを聞いても、僕らが個人 今でも続いてる地域があります。そ い。仕事もできない。そんな状況がらいいのかわからない。何もできな がオープンするということで、だん 屋」が開いてて、5月3日に「吉野家」 パチンコ屋やお風呂屋さんや「すき 入にならないし、でも他に何をした いあって、しかし家を片付けても収 でも、被災者のやることはいっぱ 僕が初めて行ったのは、 4 月 29 日

組の団体が焼きそばやフランクフル

焼き鳥を作って、それを自分た

スからビールまで色々飲み物を用意

食べ物も東京教区の茨城一

いのもとにされていました。ジュー ンを取るきっかけになればという願 ました。青空喫茶は仮設住宅に住ん 炊き出しと青空喫茶のお手伝いをし

でいる人たちに、コミュニケーショ

ぁく だゅうとく 奥田祐督(第6組圓通寺衆徒)

の7名で、9月の7日・8日に行き渡邉:藤井さんも一緒に「微風の会」

ます。持って行けなかったものがた して、これから送っていこうと思い で、向こうのネットワークに声掛け 服とか布団とかが必要になりますの から寒くなっていく時期で、 ぱいの物資が家にはあります。これ が集まって、今でも自宅の部屋いっ今は物資を集めすぎて、すごい数 くさんあります。 冬物の

出すことにしました。

んね。 渡邉:必要なものは刻々と変わるも

なっているということもありまし ものでも、次のところではいらなく 奥田:最初行ったとこで必要だった

しゃらりん

現地の人と飲んだりとか、

食べたり

しながら、お話させていただきまし

手が空いてる人は一緒に机に座って ちは、お皿に入れてみんなに配って、

た。

地支援センターに連絡をとりまし きをしますか、それとも炊き出しの 素人なので、どういうことをしたら て、全員ボランティアの経験もない お手伝いをしてくれますか」と聞か いをさせていただくことにしまし れました。それで炊き出しのお手伝 いうことができますか、 いいかと尋ねたところ、「まずどう 東北別院の現 例えば泥か

やっていましたが、 を視察しました。よくテレビでも 寺や、海の近くの食品加工工場など 1日目は若林地区の半壊した海楽 車の窓を開け

<sup>ゎたなべのぶ ぇ</sup> 波邉延江(第 12 組乗雲寺坊守)

須田さんがビラを作って宣伝してく

たこ焼きは体験できますよって、

岩手県の山田町大沢地区で、大阪名

事前に色々と打ち合わせをして、

物のたこ焼きとチヂミとどて焼きを

たんですが、

海岸線に出ると、も

は全く被害に遭った雰囲気はなか

つ

花巻空港から太平洋側に出るまで

て、寄せていただくことにしました。 ました。奥羽教区の須田さんを頼っ

すごい状態で、ショックでしたね。

なさん最初はちょっと遠巻きに見て 藤井:御堂さんの浴衣を借りて。

らしたんですけど、段々入ってきて

だから、時間が足りなくて、 ちにたいぶ助けてもらいました。 た、ばたばたしました。地区の人た 渡邉:行った人数も少なかったもの ばたば

前だけで、どういう被災をされたの 災者の方と文通して欲しいという依 なかった。どういう状態だったのか 嬉しかったし、初めて会った気もし ら、行った時にご夫婦で待っててく 思いを書いて出しました。そうした 方でしたから、どんなこと書いたら かも何もわからなくて。それも男の 頼がありました。ですから、私たち れてはったんですよ。それはすごい みんな、8月には向こうにお手紙書 いてるんです。文通相手は住所と名 それと、事前に、 いのかなと思いましたが、 須田さんから被 自分の

> けど、何せ時間がなくて。 のかという様なことを話しました。 とか、子どもさんたちはどうだった

からないですが。 ういうお付き合いがしていけるかわ していこうと思っています。今後ど そのご夫婦とはこれからも文通を

## 藤井さん「被災者に 寄り添い」

で作っている会で、 に行きました。本山の「ハンセン病 に関する懇談会」OBやOG、 藤井:私は2回目が10月の11~13日 ハンセン病の快復者の方がいた カトリックの神父さんがいた 大谷派だけでは 有志



(第17組真願寺坊守)

がまき 藤井満紀

りました。 ら仙台教務所に集ま ていう意見が出て、 ンティアに行こうっ ります。そこでボラ りするグループがあ 人くらいが全国か

大沢地区での炊き出し

した。 初日は、

Ę 翌日は、 先月も行っ

8

楽しんでました(笑)。 の人って、シャイで、 う熱い希望があって、

また、波板の仮設住宅の方なんで

築島へ物資を届けま 東松島の

した。東北の子ども 歓迎してくださいま 深くなるというか、 だと、それだけ情が 会したわけですけど 出会った人たちと再 しをしました。先月 た大沢地区で炊き出 やっぱり2回目

で焼いてもらいました。みんな結構 でるので、おっちゃんらを巻き込ん 端っこにある軽トラのまわりで飲ん もすることになりました。東北の男 たちから、もう一回してくれってい 急遽たこ焼き なんかみんな

すが、 食材を切ったりしながらお話を聞き に横に並んで、炊き出しの下準備でだ見つかっていないそうです。一緒 とは聞きにくいけど、横に並ぶと話 ました。面と向かってはいろんなこ る人を助けに行って流されて、 が、第一波の津波の時に、溺れて 消防団員の30歳代の息子さん ま

かるので、 ができる。 から被災地ヘトラックが出るとかが 個10個となると、 月に一回でも、御堂さん 仮設住宅の狭い4畳半 かなり運送費がか

### みんなで盆踊り



話っていうのが一番こたえますね。 もちろん誰を亡くしても一緒なんで やっぱり、子どもさんを亡くした の位牌と写真が置いてありました。 部屋の小さなテーブルに、 息子さん

田町に入って、必要な物資を配ってさった須田さんは、地震の直後に山 りができると、須田さんの行かずに ています。私も2度行って、つなが 回るという活動をずっと続けてこら れて、今でも月に1、2回は行かれ 今回もコーディネー トしてくだ

> います。 くらいは続けていきたいなと思ってわかってきました。今後も年に1回おられないという気持ちがだんだん

病の療養所に毎月のように行ってい ますけど、差別されてきた人という りにされてるって、感じられました。 か、生活の弱者が、やっぱり置き去 今回現地へ行って、私もハンセン

# 教区への要望は

奥田:阪神の時は復興が早かったで

なかったように思う。

すかね。阪神大震災の時はそうでも

しゃら:遠いということもあるんで

う義援金もいっぱいしたし……。 だいぶ忘れかけているというか、

ことはありますか? 区としてこうして欲しかったという で現地へ行かれた訳ですが、大阪教 は、それぞれが独自のコネクション しゃらりん(以下しゃら):現状で

て、

3 月 ~

あったらよかったかな。 思いますが、どこへどう連絡を取れ なと思ってる人はいっぱいいると ことができると思います。 があったら、大阪教区で一緒に行く 渡邉:まず行こうと思った時、企画 いか解らないし。 そういうのが 行きたい

まで、

いましたが、

奥田:広さです。

でしょう?

だから、むこうの人に来てもらって お話してもらうとか。 あと、現地に行けない人もいるん

> れている」と言ってる。福島の人た 福島の人たちは「私たちは忘れら 震災のことも半年経ってきたら、 ŧ あれば、もう少しみんな集めやす かなと思いました。

ちの苦悩に耳を傾けていきたい。

をした外国人が、 来ているというのがわかるような とか、何かお揃いの、 ランティアをする時に、ジャンパ らがやっている時に、ピエロの格好 ものがあればいいと思いました。私 あと、炊き出しやバザ パフォーマンスを 東本願寺から -などのボ



しゃらりん

長谷:去年2月に本山で全国のボラ

ンティアの会があった。その時の講

「聖道の慈悲でもいい、

たらいいなと思いました。 るユニフォームのようなものがあっ やってたんですけど、最後に布教を いですけど、自分たちの身元がわか 大谷派から来ました」って言いまし てしまったので、あとで「私たちは、 しだして(笑)。私たちが前座でバ 別に宗教活動をするわけではな ・をやってたみたいな感じになっ

ンティアというのはないんですか? 大谷派の僧侶としてのボラ

長谷:ボランティア推進会議では 月12日に浄土宗の大河内大博さん



たこ焼きを作る皆さ.

係が一番大事で、それを邪魔しない どうかかわるかというお話がありま のが課題だということでした。 ようにしなければいけない、 教者としてボランティア・被災者と をお招きしたんですが、 地元のお寺さんと被災者の関 その中で宗 という

というわけにはいかないと? しゃら:ボランティアで仏事をする

ですね。地元のお寺に頼まれてお参 でも地元のお寺さんに来て欲しいん よね。それにやはり、 長谷:それでは地元のお寺と門徒さ りにいくのはいいけれど。 んの関係が壊れていってしまいます 何日か待って

が大事だというお話でした。 に話を聞けたら、それでいい。それ 自分が仏教者であることを忘れず

# 帰ってきてからの思い

しゃら:皆さん実際に現地で活動さ かせいただけますか? いろいろな思いを持って帰っ

> かということを考えました。 覚の中で、会としては何が出来るの も現地と大阪は全然違うなという感 森:大阪に戻った時に、

になっているので、その時使わせて 自分たちがもう一回行こうという話 援センターへ送り、半分は次の夏に にしています。募金は半分は現地支 ば、お気持ちだけ募金をということ てきた報告をして、もしよろしけれ て、15分くらいの紙芝居形式で、行っ 恩講の時期ですから、各寺院を回っ いただくことにしています。 イズのパネルにして、

寺を回っているんですか? しゃら:一緒に行ったメンバーのお

価値はあるのかなと思っています。 えば、それだけでも自分たちがやる た人に、忘れないで覚えていてもら 声もたくさんあり、 ます。来て欲しいと言ってくださる 組内など知り合いのお寺に行ってい 森:行ったメンバーのお寺プラス、 話を聞いてくれ

のと、 しゃら:実際に行かれたお話を聞く 新聞やテレビを通じて見るの

それで、撮ってきた写真をA2サ 今ちょうど報 同じ日本で パネルを使って報告する森さん

張って、 すごく大事なことですし、ご門徒に 戻ってきて発信をするというのは、 とでは、 きない、寄付するしかないみたいな ね。一部の頑張れる人たちだけが頑 てきますね。 かできるのではという気持ちが湧 とをしてくれると、もうちょっと何 ことがあるけれど、身近でこんなこ も身近に感じてもらえるでしょう 私たちは何かしたいけどで 実感が違う。 行かれた人が

きた時はすごく熱いんですけど、 森:なぜこういう活動をやろうかと いう話になったかというと、帰って

てこられたと思うんですけど、お聞 れて、

から、大事にしないと。長谷:そういう本能を持ってるんだ だ人がいたら、手を出してしまう、 ところからしか我々は動けない。 というお話がありました。そういう ありのままの姿だから。 出さずにはおれない。それが人間の 渡邉:それしかできない。隣で転ん

どう出遇っていくか。 支援される側というようなことを超 たいと思っています。支援する側、 渡邉:それから、被災者の方たちと 私もまた行き

こういう時に立ち上がれない。要は

となのかを、平生考えておかないと、

るのか、今の社会のいろいろな問題 渡邉:どういうボランティアができ

と向き合うということがどういうこ

そして自分たちに向けてもう一度思 から、外に向けてするという目的と、 まうということもありました。です 間が経つと気持ちが醒めていってし

起こすという思いがあって、

らない

自分で動こうとしない限り何も始ま 何でも一人からしか出発できない。

最後に一言

たら行った、やったらやったという るというか。また、自分自身も行っ う人ありますでしょう?

非難され 色々言

えていく出遇いをしたいと思う。

あれは聖道の慈悲だとか、

周りの人とか門徒さんに伝えていっ ことに執着するからね。帰ってきて

アということ。 とと、真宗教団としてのボランティ は、真宗人のボランティアというこ 長谷:我々がずっと問題にしてるの

着してくるというのが見えてくる。 たらいいんだけど、何か自分が執

「行ったんだ」という顔してるしね。

にどう関わるかです。 があった者は、真宗人として、 ら、我々親鸞聖人の教えを聞く機会 反省しながら、 個々を照らしなが

ボランティア。 かが、これからの課題ですね。 ワークをどうやって大事にして いたりとか、組織としてのネット んだけど、 それともうひとつ、 組織としての真宗教団の お寺を拠点にして動 大事なことな

けになれば、意味も大きいと思いま れた人が、この座談会のメンバーにげることによって、興味を持ってく す。本当は今では遅い。もっと早く 聞いてみようとか、 藤井:今回『しゃらりん』で取り上 月くらいの時期にやって、 そういうきっか

> それが点火剤になっていたらなあと。 広がりを持てたら良かったです

**脞談の様子** 

ないよりは」という言葉に感動した

で、 うことが、わかるかわからないかで、 とをやっている団体や人があると はボランティア推進会議にいるの 動き方が違ってくると思います。 たいって思われた時に、こういうこ 長谷:なにかボランティア活動をし ただいて、ちょっとずつ進めていき い立場ですけど、みなさんに協力 それをしていかなければいけな 私

### 大阪教区救援金総額 68,073,733 円(12月12日現在)

### 大阪教区の救援金口座

加入者名

真宗大谷派大阪教務所

郵便振替口座

00990-6-149636 振替用紙の通信欄に「東北地方太平洋沖地 震救援金」と明記ください。

11

10



心配なのは…





大丈夫ですよ





### 教区出版物のご案内



このたび、青少幼年小冊子シリーズ第4弾となる『うまれてよかっ たねーこれがええ これでええ これしかないねんー』を発行いたし ました。

今回は、人生の岐路を経験した方々による執筆を中心に、これか ら人生の岐路に立つ方やその家族に向けての応援メッセージと なるような内容を掲載しています。シリーズ第1集から第3集まで も好評頒布中です。ぜひお求めください。

※定価100円、100部以上のご注文は1割引で頒布します。

### <del>%6日:</del>22002年月日0日

光光 所有真实 松流风 枫树树的

大阪徳中央区多久太郎四4-1-111 THE 66-8525-14-727020

宗祖としての親鸞聖人に遇う」の願いのも

ŧ 理

真宗門徒として生きるとはどういうこ

なのか、改めて考えます。

K

### **発行人五試信託**

編纂集:

第第組組常業等表处世風証

第第 組組 淨運園 模擬淡美子子

第第70個組 是是专有以比准法三

第第2組組清澤寺澤澤田見見

第第3組組即購得去人內廢慶彦

第第142組法制制 清麗瀬俊俊 第四個網 南南林井藤藤林容子

第第2組組 原臟境寺と野野書音

第四組組 信憶護 古古内形形

http://www.icho.gr.jp/shararin/

### 中で、 です◆教区の御遠忌まで1年余りです 屈です。原子力のゴミ処理は大変です。 ではありませんか?◆地震が起こるのは でしょうか? そして、落ち着かなくなったの 世界に住んでいたかを知らされたのではない の事故。その中で、いかに自分の都合の良い れる被災地の状況。更に、震災に続く原発 ちも変わっていたはずです◆絶えず伝えら 勤まりましたが、そこに参加した私の気持 取り止め、変更しながらも法要の全日程は 支援の集い」と名を変え、あれこれと催しを 状況になりました◆結果、第一期は「被災者 初感じていた祝賀ムードは吹き飛び、こんな 忌法要が勤まりました。しかし、3月11日の 011年は宗祖親鸞聖人七百五十回御遠 三陸沖の地震に端を発する震災により、 編 「まぁ大丈夫」とやり過ごすことは困 一御遠忌をお勤め出来るのか!?という

まま2011年が過ぎ 去っていきました◆2 ▼慌ただしい気持ちの

当